

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年5月19日発行

— 2016.5.9 ~ 2016.5.15 — 第19週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第16週	第17週	第18週	第19週
水痘	12 2.40	3 0.30	2 0.40			2 0.40	1 0.50	16 0.59	36 0.61	528	○	○	○	
流行性耳下腺炎	10 2.00	2 0.20	3 0.60		5 1.67			6 0.22	26 0.44	418	○	レ	○	
百日咳									0 0.00	7				
感染性胃腸炎	27 5.40	61 6.10	19 3.80	25 12.50	14 4.67	9 1.80	7 3.50	264 9.78	426 7.22	7,397	◎	◎	◎	◎
手足口病									0 0.00	11				
伝染性紅斑	2 0.4	1 0.10	1 0.20					3 0.11	7 0.12	197				
突発性発しん	4 0.80	5 0.50	3 0.60		3 1.00	2 0.40	1 0.50	15 0.56	33 0.56	525	○	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	5				
インフルエンザ	15 1.88	15 1.00	20 2.50	1 0.33	19 3.80	12 1.50	7 1.75	50 1.14	139 1.46	27,864	◎	◎	◎	○
咽頭結膜熱	1 0.20	6 0.60	1 0.20	8 4.00				4 0.15	20 0.34	249				
流行性角結膜炎		2 0.67						2 0.33	4 0.33	53				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33 6.60	34 3.40	19 3.80	3 1.50	1 0.33	37 7.40		90 3.33	217 3.68	4,654	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			2 2.00	2 2.00			1 1.00	1 0.20	6 0.50	138				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症		1 0.10					3 0.60	1 0.50	5 0.08	256				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	10				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	6						1						
	川崎病													
	不明発疹症													

◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意
○：発生または流行について、今後の情報に留意
レ：発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核

石巻管内 女性2名
塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性2名
栗原管内 男性1名
登米管内 女性1名
仙台管内 女性1名

3類感染症：報告なし

4類感染症：レジオネラ症

仙台管内 男性1名

5類感染症：破傷風

仙南管内 男性1名
アメーバ赤痢
仙台管内 男性1名(第16週)

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔感染性胃腸炎〕

栗原管内で警報継続中

〔A群溶血性レンサ球菌感染症〕

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第16週採取分 (4.18～4.24)	第17週採取分 (4.25～5.1)	第18週採取分 (5.2～5.8)	第16週採取分 (4.18～4.24)	第17週採取分 (4.25～5.1)	第18週採取分 (5.2～5.8)
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	2件	3件	1件			
ヒトタヌキウイルス	2件	0件	0件			
アデノウイルス	0件	3件	0件			
ライノウイルス	0件	2件	0件			

4. 今週のコメント

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

先週と比較し県内の患者報告数が約2倍に増加しています。石巻管内では継続して警報値を超えています。この感染症は、A群溶血性レンサ球菌の感染による、高熱・咽頭痛・嘔吐等を主症状とする上気道感染症です。合併症として、肺炎・髄膜炎・敗血症等の化膿性疾患や糸球体腎炎が生じることもあり、感染経路は患者との接触を介するヒト-ヒト感染が主であり、家庭、学校などの集団生活での感染も多いとされています。今後の流行に注意し、うがい、手洗いなどの予防対策やバランスのとれた食事、十分な睡眠時間をとる等日頃からの注意が必要です。

【インフルエンザ】

インフルエンザは定点当たりの患者報告数が、第18週、第19週と連続して全ての保健所管内で警報継続基準値を下回ったことから、県では5月19日に警報を解除しました。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

